

運用報告書(全体版)

第9作成期

第16期(決算日:2019年8月20日)

第17期(決算日:2019年11月20日)

*当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	単位型投信/海外/債券
信託期間	2015年7月17日から2020年7月21日まで
運用方針	<ul style="list-style-type: none">・米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とします。・投資する債券は、当ファンドの信託期間終了前に満期を迎える債券に限ります。・基準価額(支払済の収益分配金を含みません)が12,000円以上となった場合には、保有している好利回り債券を売却し安定運用に切り替え、速やかに償還します。・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。・債券の運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシーに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
主要投資対象	米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券を主要投資対象とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">・株式への投資は、転換社債の転換請求、ならびに転換社債型新株予約権付社債の新株予約権の行使により取得するもの限り、投資割合は信託財産の純資産総額の10%以下とします。・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年2、5、8、11月の各20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

米国ライフライン 好利回り債券ファンド (為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-07 〈愛称:要〉

—— 受益者のみなさまへ ——

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「米国ライフライン好利回り債券ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付)2015-07」は、2019年11月20日に第17期の決算を行いましたので、第16期～第17期(第9作成期)の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 JAビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

電話番号/03-5208-5858

(受付時間/9:00~17:00(土、日、祝休日を除く))

ホームページ/<https://www.pinebridge.co.jp/>

目次

◆米国ライフライン好利回り債券ファンド（為替ヘッジなし・早期償還条項付）2015-07<愛称：要> 運用報告書

◆設定以来の運用実績	1
◆当作成期中の基準価額と市況等の推移	2
◆投資環境	3
◆運用経過	4
◆今後の市況見通しと運用方針	5
◆1万口(元本10,000円)当たりの費用明細	6
◆<参考情報>総経費率	6
◆売買および取引の状況	7
◆主要な売買銘柄	7
◆利害関係人との取引状況等	7
◆組入資産の明細	8
◆投資信託財産の構成	9
◆資産、負債、元本および基準価額の状況	10
◆損益の状況	10
◆分配金のお知らせ	11

◆設定以来の運用実績

決算期		基準価額				受益者 回り	債券 組入比率	元本 残存率
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落額	期中 騰落率			
第1 作成期	(設定日)	円	円	円	%	%	%	%
	2015年7月17日	10,000	-	-	-	-	-	100.0
第2 作成期	第1期(2015年11月20日)	9,612	50	△338	△3.4	△9.7	94.2	99.8
	第2期(2016年2月22日)	8,519	50	△1,043	△10.9	△22.9	97.6	96.6
第3 作成期	第3期(2016年5月20日)	8,789	50	320	3.8	△12.6	95.1	94.2
	第4期(2016年8月22日)	8,272	50	△467	△5.3	△13.9	96.7	90.9
第4 作成期	第5期(2016年11月21日)	9,027	50	805	9.7	△5.4	97.6	88.4
	第6期(2017年2月20日)	9,386	50	409	4.5	△2.0	96.9	83.2
第5 作成期	第7期(2017年5月22日)	9,403	50	67	0.7	△1.3	96.3	78.9
	第8期(2017年8月21日)	9,247	50	△106	△1.1	△1.7	97.7	75.2
第6 作成期	第9期(2017年11月20日)	9,440	50	243	2.6	△0.5	95.5	71.7
	第10期(2018年2月20日)	8,984	50	△406	△4.3	△2.0	96.6	67.5
第7 作成期	第11期(2018年5月21日)	9,335	50	401	4.5	△0.4	95.8	65.0
	第12期(2018年8月20日)	9,344	50	59	0.6	△0.2	97.9	62.1
第8 作成期	第13期(2018年11月20日)	9,483	50	189	2.0	0.4	98.4	60.5
	第14期(2019年2月20日)	9,425	50	△8	△0.1	0.3	94.1	58.5
第9 作成期	第15期(2019年5月20日)	9,397	50	22	0.2	0.4	95.4	57.7
	第16期(2019年8月20日)	9,113	50	△234	△2.5	△0.2	97.1	56.3
	第17期(2019年11月20日)	9,301	40	228	2.5	0.3	98.9	55.1

(注1) 設定日の基準価額は当初設定の投資元本です。

(注2) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注3) 受益者利回りは分配金込み基準価額の当初元本に対する年率換算利回りです。

(注4) 当ファンドは、適切に比較できる指数がないため、ベンチマーク等はありません。

◆当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組入比率
			騰落率	
第16期	(期 首) 2019年5月20日	円 9,397	% -	% 95.4
	5月末	9,326	△0.8	90.3
	6月末	9,227	△1.8	93.8
	7月末	9,321	△0.8	96.5
	(期 末) 2019年8月20日	9,163	△2.5	97.1
第17期	(期 首) 2019年8月20日	9,113	-	97.1
	8月末	9,113	0.0	97.2
	9月末	9,257	1.6	97.9
	10月末	9,357	2.7	98.3
	(期 末) 2019年11月20日	9,341	2.5	98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

投資環境

(2019年5月21日～2019年11月20日)

米国好利回り債券市場

当作成期の米国好利回り債券市場（米ドルベース）は上昇しました。作成期首は、トランプ米大統領のメキシコへの関税強化を巡る発言によりリスク回避の動きが強まったことなどから下落しました。その後、8月までは概ね堅調に推移しましたが、トランプ米大統領が中国への追加関税を発表したことで再度市場心理が悪化、一時的に軟調な動きとなりました。しかし、作成期末にかけては、米国をはじめとした各国中央銀行による緩和期待や、世界的な貿易政策に対する楽観的な見方が広がったことで上昇が継続しました。

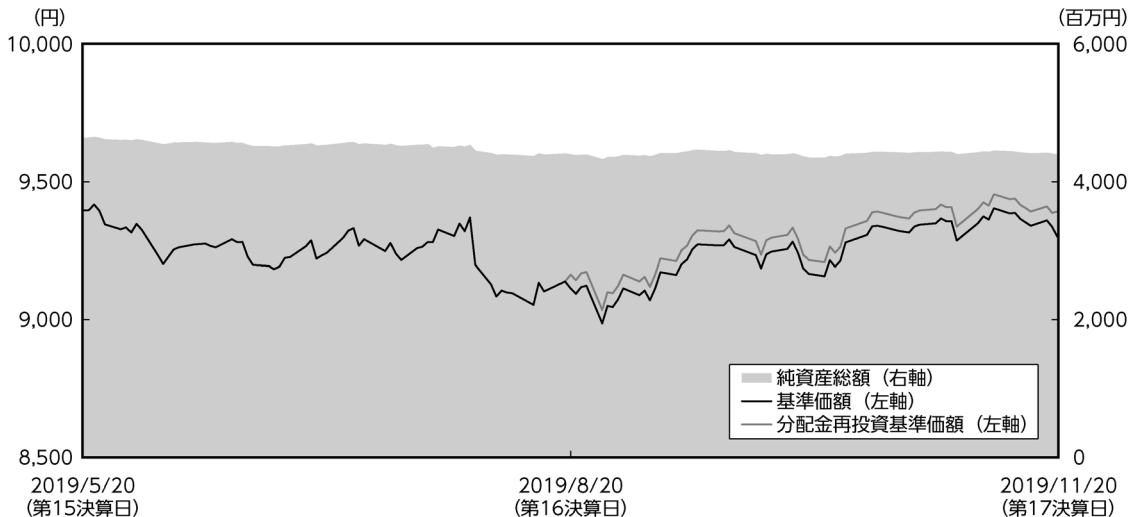
為替市場

当作成期の為替市場は小幅に円高米ドル安となりました。8月に米中貿易交渉を巡る不透明感の高まりを背景としたリスク回避の動きにより円高が急激に進行したものの、相対的に堅調な米国経済や米国金利の上昇などを背景に作成期末にかけては、円の上昇幅は縮小しました。

運用経過

(2019年5月21日～2019年11月20日)

基準価額等の推移



第16期首：9,397円

第17期末：9,301円

(作成対象期間中の既払分配金：90円)

騰落率：△0.1% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。

(注2) 当ファンドは単位型投信ですので実際には分配金を再投資することはできません。また、課税条件等を考慮しておりませんので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

当ファンド保有の米国好利回り債券からのインカム収入が主なプラス要因となりましたが、保有債券の価格が下落したことや、為替市場において円高米ドル安となったことがマイナス要因となり、当作成期間の基準価額は下落しました。

分配金の状況

当作成期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して第16期50円、第17期40円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

運用経過

当ファンドは、米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券に投資し、安定的な収益の確保を図りつつ、中長期的に信託財産の着実な成長を目指し運用を行いました。投資対象としては、主に、通信、一般消費財、生活必需品、運輸などに業種区分される銘柄に投資しました。作成期末時点のポートフォリオは、発行体の分散化を図りながら、相対的に利回りが高い一方でファンダメンタルズも良好であり投資妙味があると判断した好利回り債券で構成されています。

今後の市況見通しと運用方針

今後の市況見通し

2019年7-9月期の決算発表の内容は、全般的に収益環境が鈍化しました。ファンダメンタルズは堅調なもの、引き続き、相対的に格付けが高い債券が選好されると見ています。収益状況の鈍化という基本シナリオを前提とすると、バリュエーションは縮小か適正水準となると見ており、信用スプレッド（国債への上乗せ金利）はレンジ内で推移すると見ています。また、需給面では変動が大きくなる可能性があるものの、企業収益とマクロ経済に対し希望の光を持ち続けている投資家がいる限り下支えされると予想しています。基本的には、ポートフォリオの資本構造を上げより高い現金比率を維持するなど、リスクを調整しつつ、本源的価値からかい離している銘柄を見逃すことのないよう、慎重に運用を行う方針です。

運用方針

主として米国のライフライン関連企業が発行する米ドル建の好利回り債券に投資し、投資対象発行体のファンダメンタルズや信用力については注視しながら、安定的な収益の確保と中長期的な信託財産の着実な成長を目指して運用を行っていきます。

◆1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

(2019年5月21日～2019年11月20日)

項目	第16期～第17期 (2019.5.21～2019.11.20)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	63円	0.680%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,266円です。
(投信会社)	(31)	(0.332)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(31)	(0.332)	交付運用報告書各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
その他費用	1	0.005	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	64円	0.685%	

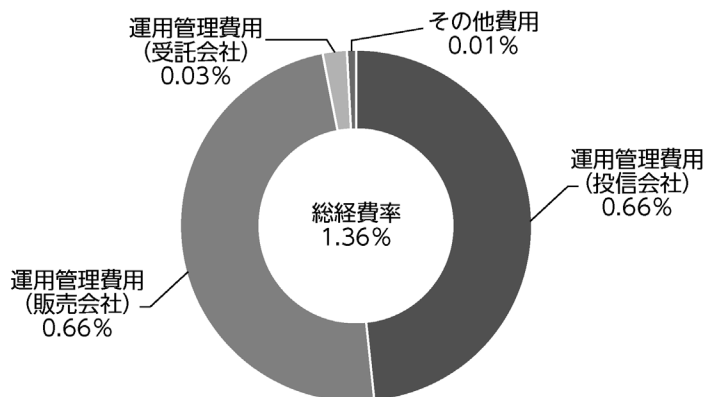
(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 消費税は報告日の税率を採用しています。

<参考情報> 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.36％です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◆**売買および取引の状況**

(2019年5月21日～2019年11月20日)

【公社債】

			買付額	売付額
外国	アメリカ	社債券(投資法人債券を含む)	千米国ドル 22,528	千米国ドル 4,123 (18,434)

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

(注4) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれていません。

◆**主要な売買銘柄**

(2019年5月21日～2019年11月20日)

【公社債】

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
AT&T INC 3.03438% (アメリカ)	224,084	HARLAND CLARKE HOLDINGS 6.87500% (アメリカ)	231,597
AVON PRODUCTS INC 6.60000% (アメリカ)	219,891	MALLINCKRODT FIN/SB 4.87500% (アメリカ)	217,877
ALLERGAN FUNDING SCS 3.00000% (アメリカ)	218,278		
DISCOVERY COMMUNICATIONS 2.80000% (アメリカ)	218,255		
CVS HEALTH CORP 3.12500% (アメリカ)	218,190		
VERIZON COMMUNICATIONS 2.69950% (アメリカ)	218,073		
ABBVIE INC 2.50000% (アメリカ)	217,323		
TEVA PHARMA FIN IV LLC 2.25000% (アメリカ)	215,862		
TIME WARNER CABLE LLC 5.00000% (アメリカ)	206,991		
D.R. HORTON INC 4.00000% (アメリカ)	98,528		

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

◆**利害関係人との取引状況等**

(2019年5月21日～2019年11月20日)

当作成期における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆組入資産の明細

(2019年11月20日現在)

【外国(外貨建)公社債(種類別)】

区 分	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米国ドル	千米国ドル	千円	%	%	%	%	%
ア メ リ カ	39,820	40,032	4,347,878	98.9	46.3	—	—	98.9
合 計	39,820	40,032	4,347,878	98.9	46.3	—	—	98.9

(注1) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

【外国(外貨建)公社債(銘柄別)】

種 類	銘 柄 名	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
	(アメリカ)	%	千米国ドル	千米国ドル	千円	
普通社債券	ABBVIE INC	2.50000	2,000	2,003	217,622	2020/05/14
(含む投資法人債券)	ALLERGAN FUNDING SCS	3.00000	2,000	2,003	217,596	2020/03/12
	AMERICAN AIRLINES GROUP	4.62500	2,100	2,105	228,651	2020/03/01
	AT&T INC	3.03438	2,050	2,059	223,709	2020/06/30
	CATERPILLAR FINL SERVICE	2.08988	600	600	65,210	2020/05/15
	CENTURYLINK INC	5.62500	2,050	2,062	224,012	2020/04/01
	CORRECTIONS CORP OF AMER	4.12500	2,000	2,000	217,220	2020/04/01
	CVS HEALTH CORP	3.12500	2,000	2,007	217,985	2020/03/09
	D.R. HORTON INC	4.00000	2,000	2,008	218,148	2020/02/15
	DISCOVERY COMMUNICATIONS	2.80000	2,000	2,007	217,980	2020/06/15
	DISH DBS CORP	5.12500	2,000	2,020	219,392	2020/05/01
	DOLLAR TREE INC	2.70213	2,000	2,000	217,258	2020/04/17
	EBAY INC	2.15000	900	902	97,996	2020/06/05
	FIAT CHRYSLER AUTOMOBILE	4.50000	250	251	27,347	2020/04/15

種類	銘柄名	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
	FORD MOTOR CREDIT CO LLC	2.42500	600	599	65,162	2020/06/12
	GENERAL MOTORS FINL CO	2.91613	600	601	65,286	2020/04/13
	LENNAR CORP	6.62500	1,950	1,981	215,231	2020/05/01
	MERITAGE HOMES CORP	7.15000	1,925	1,963	213,255	2020/04/15
	MGM RESORTS INTL	5.25000	600	605	65,719	2020/03/31
	R.R. DONNELLEY & SONS	7.62500	1,750	1,776	192,918	2020/06/15
	SPRINT COMMUNICATIONS	7.00000	1,945	1,966	213,622	2020/03/01
	TEVA PHARMA FIN IV LLC	2.25000	2,000	1,989	216,025	2020/03/18
	TIME WARNER CABLE LLC	5.00000	1,900	1,909	207,394	2020/02/01
	VERIZON COMMUNICATIONS	2.69950	2,000	2,004	217,687	2020/05/22
	ZF NA CAPITAL	4.00000	600	602	65,441	2020/04/29
合 計					4,347,878	

(注1) 邦貨換算金額は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

◆投資信託財産の構成

(2019年11月20日現在)

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	4,347,878	94.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	233,895	5.1
投 資 信 託 財 産 総 額	4,581,773	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当作成期末における外貨建て純資産(4,387,335千円)の投資信託財産総額(4,581,773千円)に対する比率は95.8%です。

(注3) 外貨建て資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは、1米国ドル=108.61円です。

◆資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月20日) (2019年11月20日)

項 目	第16期末	第17期末
	円	円
(A) 資 産	4,438,921,122	4,581,773,676
コール・ローン等	101,843,946	198,166,235
公社債(評価額)	4,272,026,550	4,347,878,319
未 収 利 息	55,838,318	28,747,679
前 払 費 用	8,127,968	4,809,492
その他未収収益	1,084,340	2,171,951
(B) 負 債	39,053,758	186,878,142
未 払 金	-	153,225,413
未払収益分配金	24,140,336	18,900,330
未払信託報酬	14,913,341	14,752,346
未 払 利 息	81	53
(C) 純資産総額(A-B)	4,399,867,364	4,394,895,534
元 本	4,828,067,398	4,725,082,617
次期繰越損益金	△ 428,200,034	△ 330,187,083
(D) 受益権総口数	4,828,067,398口	4,725,082,617口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,113円	9,301円

<注記事項(当運用報告書作成時点では監査未了です。) >

設定年月日	2015年7月17日	
設定元本額	8,560,985,127円	
	第16期	第17期
期首元本額	4,941,147,175円	4,828,067,398円
元本残存率	56.3%	55.1%
1口当たり純資産額	0.9113円	0.9301円
元本の欠損金額	428,200,034円	330,187,083円

◆損益の状況

2019年5月21日～ 2019年 8月21日～
2019年8月20日 2019年11月20日

項 目	第16期	第17期
	円	円
(A) 配 当 等 収 益	56,486,331	50,781,368
受 取 利 息	55,404,927	49,695,752
そ の 他 収 益 金	1,084,340	1,087,611
支 払 利 息	△ 2,936	△ 1,995
(B) 有価証券売買損益	△ 191,005,180	52,722,534
売 買 益	1,909,035	82,031,848
売 買 損	△ 192,914,215	△ 29,309,314
(C) 有価証券評価差損益	34,713,433	20,355,584
(D) 信 託 報 酬 等	△ 15,235,005	△ 15,019,893
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 115,040,421	108,839,593
(F) 前期繰越損益金	△ 297,924,753	△ 428,200,034
(G) 解約差損益金	8,905,476	8,073,688
(H) 計 (E + F + G)	△ 404,059,698	△ 311,286,753
(I) 収 益 分 配 金	△ 24,140,336	△ 18,900,330
次期繰越損益金(H+I)	△ 428,200,034	△ 330,187,083

(注1) (D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 投資信託財産の運用の指図にかかわる権限の一部を委託するために要する費用は5,934,099円です。(2019年5月21日～2019年11月20日)

(分配金の計算過程)

	第16期	第17期
a.期末元本超過額	-円	-円
b.配当等収益(費用控除後)	41,251,326円	35,761,475円
c.分配対象収益(a.b.のうち多い金額)	41,251,326円	35,761,475円
d.分配金	24,140,336円	18,900,330円
e.分配金(1万口当たり)	50円	40円

◆分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込）	第16期	第17期
	50円	40円

◇分配金は決算日から起算して、5営業日までにお支払いを開始いたします。

◇分配金に対する税金は次のとおりです。

所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、個人の受益者に対して20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）、法人の受益者に対して15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の率による源泉徴収が行われます。

個人の受益者の場合、原則として確定申告の必要はありません。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。